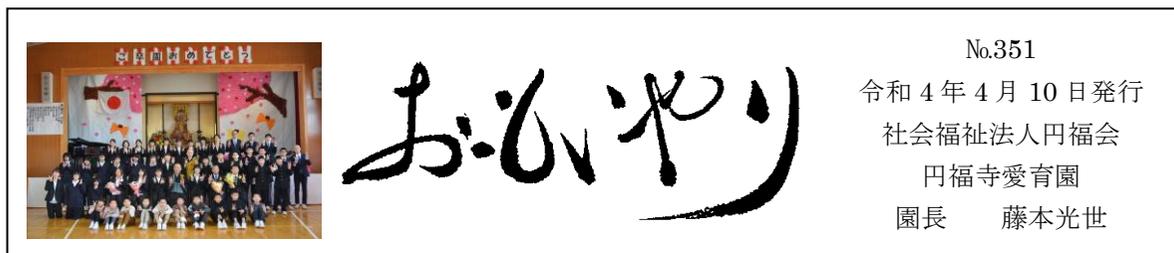


今年も卒園生が園から羽ばたいていきました。新年度がスタートします。



見学会

4月29日に第2回施設見学会を開きます。対象は、社会的養護に興味や関心のある、学生さんです。保育士養成校や長野大学をはじめとする関係大学にご案内を差し上げました。昨年の参加者は58名でした。今年も大勢来てくれればいいなあと思っています。

円福寺愛育園の養育を知ってもらうこと。そして、子どもたちをみて欲しいこと。私は子どもたちをみれば、その素晴らしさが一目瞭然で分かっていただけと思っています。昨年も、子どもたちの歌を聴いて涙が出るほど感動したとか、子どもたちと一緒に箸ピー大会が良かったとかの感想がありました。昨年以上に良い見学会にしたいです。

学生の皆さん、ふるっておいでください。

卒園式

卒園式で2名の児童を送りました。一人は進学、一人は就職です。ホームの先生のご指導により、二人とも希望の進路に進むことができました。それぞれ、園を離れて、支えてくれる人がいなくなっても、道を誤らず、幸せを求めて、勤勉、儉約、正直の生活を継続してほしいです。そして、いつでも愛育園に戻れる人であってほしいです。

先日、愛育園への道路を歩いていると、後ろから「園長先生」と自転車に乗った若い男の人が声をかけてくれました。Kちゃんでした。この道はKちゃんの通勤路なのです。Kちゃんは、福祉就労で就職して昨年から正社員になりました。何歳になるのと聞くと、25歳と答えてくれました。就職して8年目になります。継続して勤めてくれてえらいです。「何時から会社に行くの」「5時半か6時からです」それで、3時ころには帰るのです。

Kちゃんは長距離が早くて、施設対抗運動会ではマラソンで5連覇を成し遂げました。リレーマラソンでは、主役でした。体が良く動き力がありお手伝いが上手なので、庫裏の改築で荷物を上田に運ぶときに、一緒に軽トラに乗ってもらいました。軽トラの中で聴きました。「Kちゃんは小さい時にいじめられたのに、素直に育っていて偉いねー」というと「ボク、嫌なことは忘れてしまうんですよ。」「いい性格を貰ってきて、良かったね」そう話しました。

Kちゃんは努力して在園中に自動車免許を取得することができました。努力して継続することは成功の秘訣ですね。愛育園の子どもたちの見本だと思います。だから、園に帰ってくることで

きます。お話もできます。卒園児はこのように生きてほしいです。

大きな家族 愛の家

令和4年度の円福寺愛育園の事業計画のキャットフレーズを「大きな家族 愛の家」にしました。これは、初代園長の父が作詞し、小宮地敏先生が作曲した園歌「オンリーワン」の歌詞の中にある言葉です。

今、国は家庭的擁護推進計画をもって、児童の里親委託を推進しています。でも「家庭」とは形ではありません。心です。形式にはよらないと思います。

オンリーワン

一、みんなはみんなのでみんなのために
やさしく尽くす 愛の家
世界は世界は世界はひとつ
大きな家族 仲間だよ
お花も咲くよ ちようちよもくるよ
みんなで仲良く生きようよ オンリーワン

二、自分は自分で自分の花を
きれいに咲かす 愛の園
地球は地球は地球はひとつ
地球に生まれ 良かったね
お日さま昇る ニコニコ昇る
毎日大事に生きようよ オンリーワン

児童にとって家庭⁽¹⁾で育てられることがもっとも望ましい。だから、児童はできるだけ家庭⁽²⁾に近い形の里親で育てよう。それが児童の最善の利益である。こう言われると、誰もがそうかなあー、そうだなあと思ってしまうでしょう。でも最初の「家庭⁽¹⁾」と次の「家庭⁽²⁾」は違うのです。そして、「小舎制」は家庭でも家庭に近い形でもないのです。「小舎制」とは児童養護施設の養育形態です。つまり定員の小さな施設なのです。

結果は、もうしばらくすると出るでしょう。早く分かってほしいです。

新規採用者の研修で私からお話ししました。「皆さん地球は動いていますか？止まっていますか？」みんな「動いています」。「では、地球が動いていることをどのように証明したらいいのですか。ジャンプしたら、元のところに着地するでしょう。鳥のように地球から離れても、地面はそのままでしょう。動いていないでしょう。止まっているんじゃないですか？どうしたら証明できますか？」みんな知らないのです。人が言うからそう思っているだけ。それは、「里親委託が望

ましい」と人が言うから「自分もそうする」と何ら変わりがないのです。ガリレオが「それでも地球は動いている」と答えたことがいかに偉大であるか、分かるでしょうか。

地球の自転を示したのはフーコーです。フーコーはパリ天文台の中央ホールで長さ 11m のワイヤーに 5 キロの錘をつけて振らせたのです。振動面は時間とともに変化し、変化量はフーコーの計算式と一致しました。フーコーの実験を北極ですると、24 時間で一周するのです。

愛育園は、家庭以上の家庭になります。それを事実で示します。そうできれば、皆さんが分かってくれるでしょう。そして、円福寺愛育園の養育（大きな家族 愛の家）は社会的に認知されるでしょう。「事実」で示さないと、分かってもらえない。ガリレオも、地球が動いているという証拠を、それまでの科学的知見とともにたくさんの事実で示したのです。ガリレオの地動説が世界を動かしたように、円福寺愛育園の「大きな家族 愛の家」も世界を動かすでしょう。職員は大きな誇りをもって実践に取り組んでほしいと思います。

卒園式



主任保育士 石崎早織

3月20日に無事卒園式を行うことができました。コロナ禍のため今年度は園内だけの卒園式になりましたが、良い卒園式を開くことができました。

今年度私の担当児童も卒園を迎えました。卒園を迎えるにあたり今年1年かけて社会に出てから必要な力は何かをたくさん話、自分自身の課題とも向き合い自立の力が身に付くように支援してきました。担当児童

のAさんも自分自身が変わるように、成長できるようにたくさんの困難にも負けず乗り越えられるように努力してきました。その結果進路もしっかりと決まり、立派な姿で卒園式を迎えることができました。

私は今まで何人もの卒園児童の担当を持たせてもらいました。そのたびに子どもにとってどんな力を身に付けることが必要かずっと考えてきました。まだ何が正解はわかりませんが、今年度一年を通して「考える力」が大切だと感じました。失敗したとき、困った時、悩んだ時、自分自身で考えてどう行動するか。また子どもがちゃんと考えられるように待つことも職員側として必要だと思いました。なので、今年度の課題も含め、来年度は子どもの考える力が育つような支援を目標に頑張りたいと思います。

最後に今年度卒園を迎えた児童のみなさん。ご卒園おめでとうございます！！これからもそれぞれ自分の目指す道を見失わず、自分の出来ることから頑張り、成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています！！

卒園式を終えて

あおぞらホーム長 富沢正樹

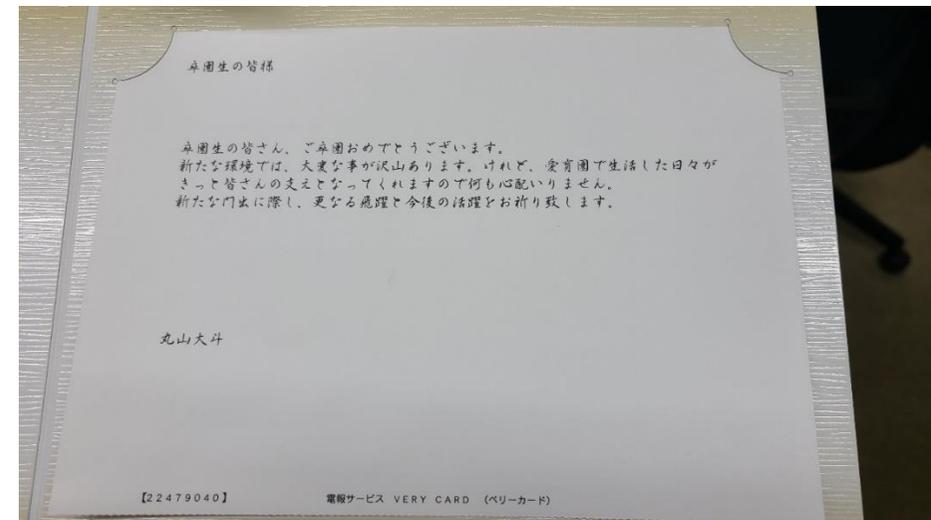
3月20日、卒園式が行われました。今年はまごころホームの児童二名が卒園生としておりましたが、愛育園の卒園式は、卒園する子達自身にとっても大切な節目の行事ですが、園全体にとっても一年を締めくくる大切な行事であり、式の雰囲気がその一年間全体を表します。

だから、「いい卒園式だったなあ」は、そのまま「いい一年だったなあ」になります。今年の卒園式はどうだったかと言えば、「とてもいい卒園式だったなあ」と思いました。準備や歌練習を積極的に行ってくれる姿や、一時間半ほどの長い式でもダラけてしまう子が一人もない様子を見て、心が育っている事を感じます。ここでいう「心」というのは、「気持ちよく卒園生を送り出してあげようという心」と「いずれ自分が卒園する時に今の自分と同じ気持ちで送り出されたいという心」が芽生えている事を言います。

この心は一年間好き勝手に過ごしたり、目標もなく過ごしたりしていると生まれてこない感情です。だから、卒園式の雰囲気を大切に作り上げようとしてくれるのは、一年間、前向きに、そして目標をもって過ごした事の証明であると思うと二重に嬉しくなります。

もう1点。昨年度卒園した子が今年の卒園式に向けて祝電を送ってくれました。在園中、と一つても手のかかった子でしたが、何とか新潟大学に合格し、この春、無事進級できたそうです。こうやって卒園後も園への気持ちを持って、今の自分の生活を大切にしてくれている様子は、私達職員にとって大きな励みになります

今年度卒園していった2名の児童も新たな環境でしっかり根を生やして頑張ってくれることを期待しています。



そして、すでに令和4年度がスタートしておりますが、園の子達も気持ち新たに前向きに頑張っています。児童職員共々、毎日の積み重ねを大事に、また素晴らしい卒園式を迎えられるよう

な一年にしたいです。

『卒園式』



まごころホーム 竹内早季

先日、今年度の卒園式が行われました。まごころホームから2名の高校3年生が卒園を迎えました。その内の一人のAさんが高校1年生の時から3年間、担当を務めさせていただき、私自身初めて卒園生を送り出しています。3年間振り返ると、Aさんと楽しい思い出ももちろんありますが、なかなか足並みが揃わず、対話に苦労し

たこともたくさんありました。高校3年になって、進路についていよいよ向き合っ決定していかなければならない時でもAさんの理想と現実のギャップに悩んだり、本気になりきれないAさんに何度も話をしたりと大変なことも多かったです。主任をはじめ、周りの先生方の協力もあり、Aさんの進路も納得のいく方向で決まり、無事第一志望の短大に合格することが出来ました。今は引っ越しに向けて最後の準備を行っています。生活面、金銭面ともにしっかりと確認し、Aさんと一緒に最後までやり切りたいと思います。卒園式で、「担当をもってくれてありがとう」と言われたとき、私の力不足なところも多々あったけれど、一生懸命やってきて良かったなと思いました。卒園生を担当することができ、本当に貴重な経験をさせていただきました。この経験を活かし、来年度の担当児童に対しても丁寧に接していきたいと思っています。

卒園児童お別れの言葉



私は小学校2年生の時に、円福寺愛育園に来ました。10年間愛育園で生活をして、自分自身が変わった事があります。

1つ目は、勉強することが身に付いたことです。勉強はとても苦手で、どちらかと言うとやりたくない気持ちが強かったのですが、愛育園に来て勉強の大切さを知ることが出来ました。勉強

をする事で進路の選択の幅が広がり、自分の将来の夢を叶えるためにも必要なことだと気付いたからです。高校では常に成績上位キープし、将来の夢へと繋げることが出来ました。

2つ目は、将来の夢を持てるようになったことです。愛育園で生活をする中で、嬉しいことがあった時は一緒に喜び、悲しいことがあった時は気付いて声を掛けている、そんな姿を見て私も保育士になりたいと思いました。その夢を叶えるために4月からは、短大に進学します。これからは生活と学業の両立で大変なこともたくさんあると思いますが、今まで愛育園で生活して

きた事を基盤として頑張っていきたいです。そして将来は幼児保育に関わる仕事に就き、園の先生のように子どもの感情に寄り添えるような保育士になりたいです。

3つ目は行事を通して、準備や後片付けを率先してできるようになったことです。愛育園ではたくさんの行事がありますが、私はどれも楽しくてとても好きでした。そしてどの行事でも言われているのが準備と後片付けは大事だということです。それを聞いて私は、少しでも早く片付けが終わるように自分からやる事がないか探ることが出来るようになりました。

私がここまで変わることが出来たのは愛育園の先生たちのおかげです。困っている時に相談に乗ってもらったり、私がやる事を応援してくれ、とても嬉しく、心強く感じていました。特に担当の竹内先生には、本当に感謝しています。進路について何度も話し合いいつも真剣に考えてくれました。卒園後の生活の事も少しでも不安を取り除けるようにたくさん考えてくれました。大学入試の時には本気になり切れていなかった私に対して、何度も諦めず話をしてくれました。そのおかげで第一志望の大学に合格することが出来ました。3年間私の担当でいてくれて本当にありがとうございました。

最後に、私は3月30日で愛育園を巣立ちます。卒園後の準備を進めていますが正直まだまだ卒園するという実感がなく、不安もたくさんあります。ですが将来立派な保育士になる為にも一生懸命勉強したいと思います。またみんなと会える日を楽しみに頑張ります。10年間本当にありがとうございました。

(卒園生・Aさん)



私は、高校一年生の冬から愛育園で生活してきました。これまでの愛育園での生活を振り返ってみて、一番印象に残っていることは「行事がたくさんある」ということです。どれも思い出に残っていますが、その中でも一番心に残っている行事は今年度の運動会です。今年度は中高生と職員で扇子の演舞を行いました。私は振り付けを覚えるのが苦手で、なかなか出来るよ

うにならず不安でいっぱいでした。そんな時に、先生達や他の中高生が何度も教えてくれ、とても心強かったです。

園に来るまでこんな必死になって頑張った経験がなく、最後まで本気で練習したので本番で上手にできた時は、本当に嬉しかったです。一つのことを真剣に取り組み、周りとの協力していくことの大切さを学びました。また、お互いに励まし合っていくことで、苦手なことにも前向きにチャレンジする事が出来ました。愛育園に来るまで経験した事のないことがたくさんあり、とても充

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

実した日々になりました。

ただ、楽しい事ばかりではなく、自分の課題とも向き合った二年間でもありました。私は失敗を素直に認められなかったり、プライドが高く上手くいかないとそのギャップに落ち込んだりすることが何度もありました。その度に先生達は私にたくさん話しをしてくれました。なかなか素直に受け止められずにいた私に時に厳しく、それでも最後まで指導して下さいましたことに感謝しています。その中でも今年私を担当してくれた石崎先生には、とても感謝しています。私は常に空気の読めない発言や行動をとってしまいます。そんな時石崎先生は私が社会に出ても困らないよう、何度も注意をしてくれました。常識的な部分の注意とパニックになった時の「落ち着きなさい」という声掛けのおかげで、無事に就職を決めることが出来たり、一人暮らしの準備をすることが出来ました。

これからの生活で、石崎先生に言われたことを忘れずに自分の生活に生かしていきたいです。本当にありがとうございました。

また、まごころホームの先生だけではなく園の皆に支えてもらったおかげで、今日まで頑張ることが出来ました。最後に、園長先生のおかげで一生懸命、日々の生活を送り、過去の自分と向き合って乗り越えていく努力が出来ました。私に自分の為に頑張れる場所を作って頂きありがとうございました。

これから社会人として働き始めることに正直なところ不安もたくさんありますが、愛育園での生活を胸に、焦らず一つ一つ乗り越えていきたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。

(卒園生・Aさん)

在園児童挨拶



AさんBさん、ご卒園おめでとうございます。この日を迎えるまで沢山の努力を重ねてきたことと思います。その中で、私はまごころホームで過ごしてきたお二人の思い出をお話したいと思います。

Aさんとはまごころホームで10年間、Bさんとは3年間一緒に生活してきました。Aさんは行事の中でいつも自分でや

ることを見つけて積極的に動いていた姿がとても凄いです。特に印象に残っているのは、キャンプの班旗作りです。アイデアを出してとても丁寧に下書きをしてくれました。最後まで手を抜かずに作業をしていた所がとても頼もしかったです。Bさんは毎日しっかり挨拶をしたり、誰にでも優しく接している姿が印象的でした。誰かが困っていたら手を差し伸べられる優しさも

(令和4年4月10日発行 月刊「円福」499号付録)

見習いたいと思っています。また、いつも優しく話しかけてくれたことがとても嬉しかったです。そして何より二人とも自分の進路実現に向けて学校の勉強やアルバイトを頑張っていて、特に今年度は教習や就職試験、大学受験などあり大変だったと思いますが、希望の進路を叶えたことは本当に凄いなと思いました。

そのようなお二人の姿を見て、私もこれから自分の将来のために努力していきたいと思っています。私はこれからまごころホームで一番上の学年になります。今はまだ自分の課題を見つめ直し、まだまだ足りない所もたくさんあり、自信をもって大丈夫とは言えませんが、素直さを大切にして一つ一つ頑張っていきたいです。お二人の姿から学んだことを今後の生活に生かしていきます。

最後になりますが、明日から新しい生活が始まります。その中できっと不安もあると思いますが、園で過ごしてきたことを思い出して頑張ってください

令和4年3月20日 在園生代表 O・A

お別れ夕食会



あおぞらホーム 大山豊彦

3月12日に愛育園の体育館でお別れ夕食会が開かれました。和食店の一味真さんのシェフや寿司職人の方々が朝から準備をして下さり、美味しいお寿司やローストビーフ、たくさんの揚げ物などがあり、どれもとても美味しかったです。子ども達も何回もお寿司のおかわりに行ったりしており大満足していました。さらに、今年もデザートコーナーにはチーズケーキやチョコレートフォンデュが用意され、お腹いっぱいと言っていた子ども達がまた沢山食べ始めて、デザートは別腹なんだと感じました。

会食中に、子ども達がこの1年を通してできたことやできなかったこと、来年度の抱負を話す時間がありました。私の担当のY君は1年生の時は嫌なことがあると教室を飛び出しちゃっていたけど、今は嫌なことがあっても教室でちゃんと過ごせるようになったと話しており、本当に嬉しかったです。最後には今年度卒園するまごころの2名も登壇し、これまでの感謝と今後の抱負を話してくれました。この1年1人1人良い所も悪い所も色々ありましたが、それでも少しずつ成長しているなととても感じられた夕食会でした。

お別れ夕食会 あおぞら児童感想

3月12日にお別れ夕食会がありました。「一味真」さんが美味しい料理を提供してくれました。おかずや、寿司、デザートなど、どれも美味しかったです。僕は最後に一味真さんへお礼の言葉を言いました。

(中1 Mくん)

3月12日の夜にお別れ夕食会がありました。今年もまた一味真さんが美味しいご飯を持って来てくれました。今年は寿司がメインで唐揚げやポテトなどたくさんの料理がありました。僕は唐揚げが入っているおかずを4つ食べました。骨付き肉もタレが甘くて美味しかったです。サンドウィッチも3回おかわりをしました。少ししたところでフライドポテトもきたので食べました。揚げたてのポテトでとても美味しかったです。そして、去年と同じチョコフォンデュを食べました。マシュマロやパイナップル、バナナなどにかけて食べました。僕はパイナップルを20個近く食べました。とても楽しく美味しく食べることができたので良かったです。

(中2 Yくん)

お別れ夕食会 まごころ児童感想

きょうは、お別れ夕食会がありました。今年も一味真さんに来て頂きました。今年のメニューは茶碗蒸し、ローストビーフ、お寿司、ポテト、チョコフォンデュなどでした。しかも今年は、お寿司を握ってもらえたのでとても嬉しかったです。夕食会の途中で来年の抱負を発表しました。私は、「苦手な教科を克服



する事」と言いました。この発表は私にとって自分自身に気合いを入れられる、とても良い発表だったと思います。また、日頃味わうことのできない緊張や、なかなか伝えることが出来ないことを話すことが出来たので、とても良かったです。

そして、コロナ禍で制限されることも多かったけど、今日はみんなで楽しく食べられた事、そして一年間頑張ってきた自分やみんな、夕食会を企画してくれた先生達や一味真さんに感謝したいです。

(中1 Hさん)

3月12日に卒園生お別れ夕食バイキングがありました。今年も去年と同じく一味真さんが美味しいごはんをたくさん持って来てくれました。例えば、お寿司、チョコフォンデュなどがありました。全部、とても美味しかったです。お寿司は職人さんにお寿司のネタを頼むと、できたてのお寿司が食べれました。

会の後半には、一年間を振り返って発表しました。私が、一年間を通して頑張れたと思うことは、先生達の話に素直に聞くことだと思います。なので、来年度も先生達の話に素直に聞いて、しっかり生活したいです。あと、気持ちよく卒園生をお見送りしたいです。

(中2 Mさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

卒園式も終わり、いよいよ新年度がスタートします。卒園する子もいますが、新たに小学校・中学校に入学する子、受験を控える子、進路を決定させないといけない子など、節目に当たる子が例年以上に沢山います。どの子も期待や不安を持っていますが、1年後にどのように生活しているかを想像するととてもワクワクしています。少しでも理想に近づける為には、1日1日の過ごし方が大事になると思います。頑張ることは頑張らせていかないといけないので、厳しく見守ったり、でも抜くときはしっかり抜けるよう、思いっきり楽しませたり、職員としてできることはたくさんあると思いますので、大いに気持ちを持ってみていきたいなと思います。また、去年はコロナ過という事もあり、新戦力が乏しかったですが、新任職員も数名入ってきています。それぞれ苦悩もあるかと思いますが、少しずつ自分らしさを出して子ども達と接してもらえよう、コミュニケーションも昨年以上に高めて見ていきたいなと思います。

春休み中の生活は、午前中学習、午後は公園やサイクリング、川遊び、野球、生き物採集などアクティブに生活してきました。例年も休み中は外に出かけることは多かったですが、今年はみんなまとまりをもって遊べていることが多かったように感じます。個人での関りを求める子もいますが、そんな子たちも集団の中でみんなと楽しく関わっていくことを頑張っていたように感じます。学校が始まってしまえば、また生活が崩れしまう子も出てくるかと思いますが、次の休みに向け、弾みのつく春休みだったかなと感じています。少しでも良いスタートを切らせられるよう、子ども達の変化をよくみていけるような4月にしていければと思います。

まごころホームだより

まごころホーム 田中沙季



徐々に寒さが緩み、日中も暖かく過ごしやすいい日が増えてきました。まごころホームでは、4名が卒業、2名が卒園を迎えました。新たな環境に対して不安もありますが、とても楽しみにしている様子も見られます。コロナウイルスの流行もなかなか収まらない中ではありますが、今年も一味真さんに準備して頂きお別れ夕食会を行うことが出来ました。今年も職人さんが

目の前でお寿司を握って下さりました。なかなかできない体験に子どもたちはとても嬉しそうにたくさん食べていました。またチョコフォンデュも用意されていて、何度も何度もおかわりをする姿がたくさん見られました。

春休みに入り、卒園式が行われました。コロナウイルスの影響で来賓の方には来て頂かず、園内行事として行われました。コロナが流行る前と同じようにとはいきませんが、子どもたちは積

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和4年4月10日発行 月刊「円福」499号付録)

極的に準備や片付けに参加し、式の最中も任された役割をしっかりこなし、とても心のこもった卒園式になったと思います。これから卒園生はそれぞれの目標に向かってくじけずに頑張っていて欲しいと思います。また、これからも園で生活する子どもたちも自分の目標に向かって一生懸命頑張っていて欲しいなと思います。

調理室だより

調理員 宮沢まき江

出会いと別れの3月：子供達・職員もそれぞれ様々な思いをめぐらせた事と思われま

調理では、特別メニューが盛りだくさんの月となりました。

★ひな祭りメニュー（2日）★後期選抜応援メニュー（8日）★やしょうま作り（14日）

★卒園生お祝いメニュー（15日）★お彼岸団子作り（21日）★おはぎ作り（23日）

★12日：卒園生とのお別れ夕食会は、【一味真】さんにケイタリングして頂き、体育館で行われました。ずっと黙食の日々の中、感染対策をホームの先生方が考えて下さり久々の楽しい食事風景となりました。

★20日：卒園式では、ずっとご支援下さっている恒例の【かつ玄】さんからの心こもったお弁当で昼食を頂きました。

★今月の誕生日メニューは、3日Rさん：17日A君：18日R君：19日S君：21日N君の5名でした。

主食～牛とじ丼・ラーメン・つけ麺・ざるそば・・・ペペロンチーノ

副食～フライドポテト・唐揚げ・焼き鳥・イカリングフライ・クリームコロッケ

サラダ～コールスロー・マセドアン・カミカミ・マカロニ・イタリアン

デザート～ティラミス・チョコケーキ・クリームブリュレ・抹茶パフェ

★今年度の締めくくりは25日園長先生の誕生日メニューとなりました。

ざるそば・天ぷら・ほうれん草のおひたし・フルーツ in ゼリー

蕎麦は特別に手打ちしました。1枚（約15人）を4枚作りましたが、みんながおかわりしてくれ、ほぼ完食出来ました。

一年間有難うございました！来年度も子供達の為に調理一丸となり、美味しい食事を提供していこうと思っております。

